



## ヤゴはどうやって飼うの

### ヤゴのすんでいた自然に似せて飼う

深さのある、大型の容器を用意します。空気を送り込むエアポンプも、ぜひ、あったほうがよいでしょう。下の図のように、ヤゴの習性に合わせて、底に砂やどろをしいてやりま  
す。どろにもぐる習性のオニヤンマなどでは、もぐれるぐらいのどろをしきま  
す。ギンヤンマのヤゴなどは、砂や小石をしきま  
す。かくれ家の水草を植え、自然に近くしま  
す。成虫  
になるとき、水から出るための止まり木も必要です。

水の流れの速い、谷川などにすむヤゴは、容器では、うまく飼えないことが多いので注意  
しましょう。

### えさ

トンボの幼虫のヤゴは、みな肉食です。小さなイトトンボ類のヤゴは、ミジンコやユス  
リカの幼虫などがえさです。大きなヤンマ類のヤゴは、イトミミズ、カゲロウ、カワゲラ、  
おたまじゃくし、小魚などを食べます。

### そうじと、水のとりかえが大切

ヤゴは肉食なので、えさの食べ残しで、  
水がくさりやすくなります。こまめに水を  
かえることが大切です。水は、池や川の水  
か、2～3日空気にさらした水道水を使  
います。水は、いちどに全部とりかえないで、  
半分くらい入れかえます。

(監修・中山 周平)

